

＝ 日 資 連 界 報 ＝

関東商組・関資連 『抜取問題対策協議会』
会長 上田 雄 健
副会長 佐藤 一 郎

報告①

中国経済の現状に触れ

東資協「上海地区
視察研修会」団長 若月 順一

鳥インフルエンザ、SARS問題を中心に心配しながら、平成十六年二月二十四日・二十七日の第二回東資協海外研修は総勢十七名で行われた。

二十四日は全体レクチャ―、二十五日は浙江省にバス移動して製紙工場を三カ所見学。二十六日は朝五時より古紙取引市場を見学した後、上海市でバス移動の行程であった。

二月二十四日 全体レクチャ―

中央直轄市(省と同格)であり、面積は六三〇〇(東京と埼玉県の合計に相当)鹿児島県と同緯度、日本との時差はマインス一時間である。通貨は元(げん)。(一元は十四・五円)上海市の平均月給は一八五元(一万四千円)程と聞く。

また、経済発展に伴う電力・道路網・環境問題への対応が課題となっており、製造コストの上昇(原材料費・輸送費・停電による稼働率低下)や販売競争の激化(供給過剰による値下げ競争)等事情についてレクチャ―を受けた。説明によれば、人口は日本の二六倍、国土は十倍、一人当たりのGDP(国内総生産)は三十分の一(一〇〇〇US\$)である。中国の製紙事情(二〇〇二年)は紙・板紙生産量三七八〇万トン、古紙消費量一九三三万トン(内六八七万トンは輸入)、製紙工場数三五〇〇社、一人当たり紙・板紙使用量三三三kg/年(日本は二二五kg・世界平均五十三kg)である。説明を受けた印象では、中国に安い人件費での人海戦術ではなく、安い人件費は高価な機械を安く使うために活用し、高価な機械を二十四時間稼働させて、生産コストを下



浙江省遠大紙業有限公司



富陽の朝市

動させ、生産コストを下

しかしながら、中国は広く、製造業を取り巻く環境や制度は一つではなく、企業が生き残るためには誰にも負けない技術、かなりの資金力が勝負の分かれ目となっていることは間違いない。

また、経済発展に伴う電力・道路網・環境問題への対応が課題となっており、製造コストの上昇(原材料費・輸送費・停電による稼働率低下)や販売競争の激化(供給過剰による値下げ競争)等事情についてレクチャ―を受けた。説明によれば、人口は日本の二六倍、国土は十倍、一人当たりのGDP(国内総生産)は三十分の一(一〇〇〇US\$)である。中国の製紙事情(二〇〇二年)は紙・板紙生産量三七八〇万トン、古紙消費量一九三三万トン(内六八七万トンは輸入)、製紙工場数三五〇〇社、一人当たり紙・板紙使用量三三三kg/年(日本は二二五kg・世界平均五十三kg)である。説明を受けた印象では、中国に安い人件費での人海戦術ではなく、安い人件費は高価な機械を安く使うために活用し、高価な機械を二十四時間稼働させて、生産コストを下

に米国・日本から輸入。日本の古紙は繊維が短いが、米国と比べ品質が良いとの評価。大手工場らしく広い敷地で建物も立派。しかしながら、所狭しと置いてある在庫量によると四万トンあるという。しかも、もっと増量するという。(生産量は一万トン/月です)これは何を意味することか?今年の秋に日本製紙・JIPと合併で新工場(年産十五万トン)を設立予定とかで基礎工事中ではあったが、それにしても在庫量である。金額に換算すると、日本円で七億円程になるに、現場に物価と比較して相当なものである。マシンの以前東資協で見

学した大王製紙のいわき工場程度の物に思えたが、コントロール室には七名ほど作業員が見受けられた。

③ 杭州富陽 JIN YI NG 造紙公司(クイシューフョウ ジンイン、ゾウシコンス)

景興紙業から約二時間、車窓からはイメージしていた中国らしい風景が。身なりも、町並みも、上海とかなり違った街(人々が行き交い活気にあふれる下町と云う感じ)に工場はあった。社長は三十四歳と若い。創業が半年前に稼働し始めたばかりではあるが、生産品は白板紙を三三三/月、製品価値が三三三/月(日本円で約四万五千円)を決して安くはない。古紙使用量は四四〇/月、国内・輸入の原料を使用しているが、輸入量の三十%が新聞、七十%が雑誌。二〇〇五年には一十萬トン/年の生産を計画中だそう。従業員数二

報告②

中国視察に参加して

小山 禎一

今回、三つの工場や上海市内の大都市・富陽地区の製紙工場群、富陽の古紙を見学・視察させて頂き、中国の経済事情が活況にあることを肌で感じる事ができた。各々製紙工場は設備投資を積極的に行い、業務の拡大に邁進している。たまたその反面、停電が週に三回起こるなどインフラ整備が定着していない。利潤追求が全てにおいて先行している結果であろう。共産主義国家が経済開

放策という新しい世界に移行しようとしている過渡期で、全てにおいて実験を試みている段階なのかもしれない。中国にはこれまで多くの国や地域からその市場を開拓すべく、様々な企業や団体がコミットしているが、それらの多くがその文化・習慣の違いからポジション確立に大きな苦労を重ねていると聞く。

中国はこれまでも多くの国や地域からその市場を開拓すべく、様々な企業や団体がコミットしているが、それらの多くがその文化・習慣の違いからポジション確立に大きな苦労を重ねていると聞く。

責任などの倫理意識を確立したときに、投資を行ってきた設備・技術に更に血が通うことになり、成熟した経済を生み出していくのだろう。そのやり方を少しでも読み違ふと中国内外に大きな影響を与えることになりかねない。活況を見ている世相の陰で、この国は大きな転換期を迎えているのだということを強く感じさせられた四日間であった。

見学後ホテルに戻りながらの町並みに、本当に小さな製紙工場が肩を寄せ合うように並んでいた。

二月二十六日 朝の古紙市見学

朝五時、ホテル出発。メインメニューの古紙市場・市況はどうなるか?と考えさせられる見学でもあった。

二月二十七日 帰国の路へ

三時間程上海市内見学の後、中国に別れを告げ、帰国の路につく。午後六時少し前、十七名全員無事入管を突破、解散となった。お疲れ様でした。

中国の印象を一口に言えば、日本の三十年ほど前から現在までを凝縮したかき回しの中に居るような感じがした。ボンッ車から最新のベンツまで、時速五百キロを超えるリニアモーターカーと三千五百キロを走る路線バスが、四百八十メートルを超えるビルと崩れかけた家が混在し、それだけが主張しあっている中、湧き上がるエネルギーを感じたのは私だけではないだろう。中国のはんの一部を見た。この知識を仕事に、東資協活動に生かせるはずである。

百八十人

③ 浙江 YUANDA 有限造紙工業公司(セッコウ ユンダ ユウゲン、ゾウシコンス)

前出の工場と三分ほど離れた富陽の工業団地に、二〇〇三年六月に稼働した白板紙を生産する製紙工場。生産量二万七千トン/年。古紙使用量は三三三/月、一万トン/年。古紙の輸入は八十%がヨーロッパ。品目は残紙・上合紙・雑誌。特に残紙が欲しいと。従業員数六百八十人。見学したのは六時頃であったが、原料ヤードではまだ仕事。社長は三十代後半と思われ、若い。

(そのような工場を見学しなかった。)杭州・富陽地区には大小約四百の製紙工場があるといわれ、毎日三千〜四万トンの原料が消費されるという。日本に古紙はアメリカ等と比べ選別度(ゴミの混入率)がとて悪い。良紙の繊維が短いのが難点。しかしながら、安定供給が望めそうである使用比率を高めたという見学した工場すべて同じ考え方であった。

しかし、もし、中国が満腹でもう食えないと言いつたならば、古紙の市場・市況はどうなるか?と考えさせられる見学でもあった。

二月二十六日 朝の古紙市見学

朝五時、ホテル出発。メインメニューの古紙市場・市況はどうなるか?と考えさせられる見学でもあった。

の報告は同行諸兄にお譲りして、気づいた事を一つ。場内に男女の老人が数人、小さなビニール袋をもって何かを拾っているのを見つけた。売買取引の隙に、サンダルと引きつらな紙片を拾い集めていた。前夜、富陽の町で散歩をしていたとき、ガラス越しに覗いたラーメン屋(たぶん)の張り出しメニューに、〇〇麺十七元、〇〇麺三元と書いてあったのをふと思い出した。古紙価格は約一元/kg、三kg集めれば麺一杯食べられる勘定になる。古紙は高価なものなのだ。

二月二十七日 帰国の路へ

三時間程上海市内見学の後、中国に別れを告げ、帰国の路につく。午後六時少し前、十七名全員無事入管を突破、解散となった。お疲れ様でした。

今回の研修に際し、理事長はじめ東資協の皆様、豊田通商(株)の皆様、東資協の皆様、そして見学させて頂いた工場の皆様方に、参加一同ともに、深く感謝申し上げます。有難うございました。

-委員会よりのお知らせ-

新年度にあたり広報広告の募集を行います。年間4回の広告掲載です。掲載お申込み、詳しい説明をご希望の方は事務局草間まで電話でおたずね下さい。

段ボールのリサイクルは次世代の環境作り!!

循環型社会に最適な包装資材として今後ともリサイクルの推進・向上に努めます。

段ボールリサイクル協議会

リサイクルシンボルの普及促進中!!

資料問い合わせは事務局へ
詳細については日本段ボール工業会のホームページ
(http://www.jcca.gr.jp)で閲覧できます

東京都中央区銀座3-9-11 紙パルプ会館
(日本段ボール工業会内)
TEL03-3248-4851 FAX03-5550-2101

日資連の情報発信拠点として

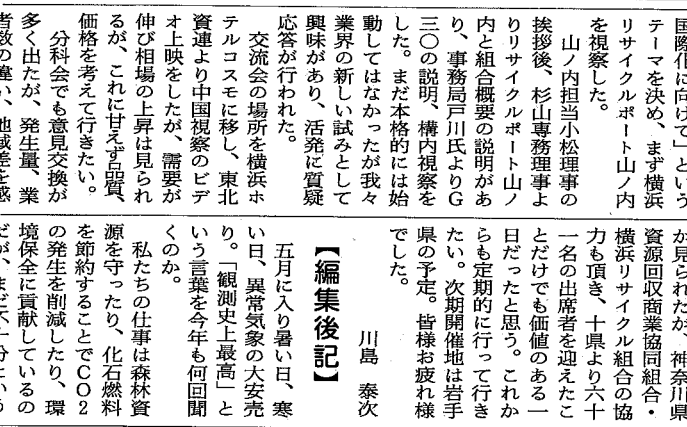
埼玉県再生資源事
理事長 細 田
F338-0826・埼玉県さいたま市
TEL 048(852)9048・FA

む！

求 告 廣

同組合連合会
津 守 光
沼市朝日町 1952-2
FAX 0289(62)2246

TEL 0289 (62) 2239



事業者記入欄へ自ら記入すること。

(2) 回収業者は回収業者記入欄へ自ら記入する。

は、再生資源化事業者欄

東京都資源回収
理事長 紺 里
〒220-0023 東京都千代田区
TEL 03(3263)36760・

収商業協同組合
原 右 一
横浜市西区平沼 1-40-17
〒220-0293 横浜 3 1 1 号室
・ FAX 045(313)6161

神奈川県資源
理事長 萩
〒220-0023 神奈川県
モンテベ
TEL 045(313)6100

栃木県外協同組合連合会
会 長 阿久津 守 光
〒322-0035 栃木県鹿沼市朝日町 1952-2
TEL 0289(62)2239・FAX 0289(62)2246

大阪府再生資源事業協同組合
理事長 入江 金 男
〒567-0865 大阪府茨木市横江 2-9-45
TEL 0726(30)6730・FAX 0726(30)6731

岡山再生資源事業協同組合
理事長 佐藤 章夫
〒700-0026 岡山県岡山市豊成 3-14-20
TEL 086(902)0011・FAX 086(902)0140

埼玉県再生資源事業協同組合
理事長 細田 益弘
〒338-0826 埼玉県さいたま市桜区大久保領家 343-7
TEL 048(952)0048 FAX 048(952)2275

廣告求む！